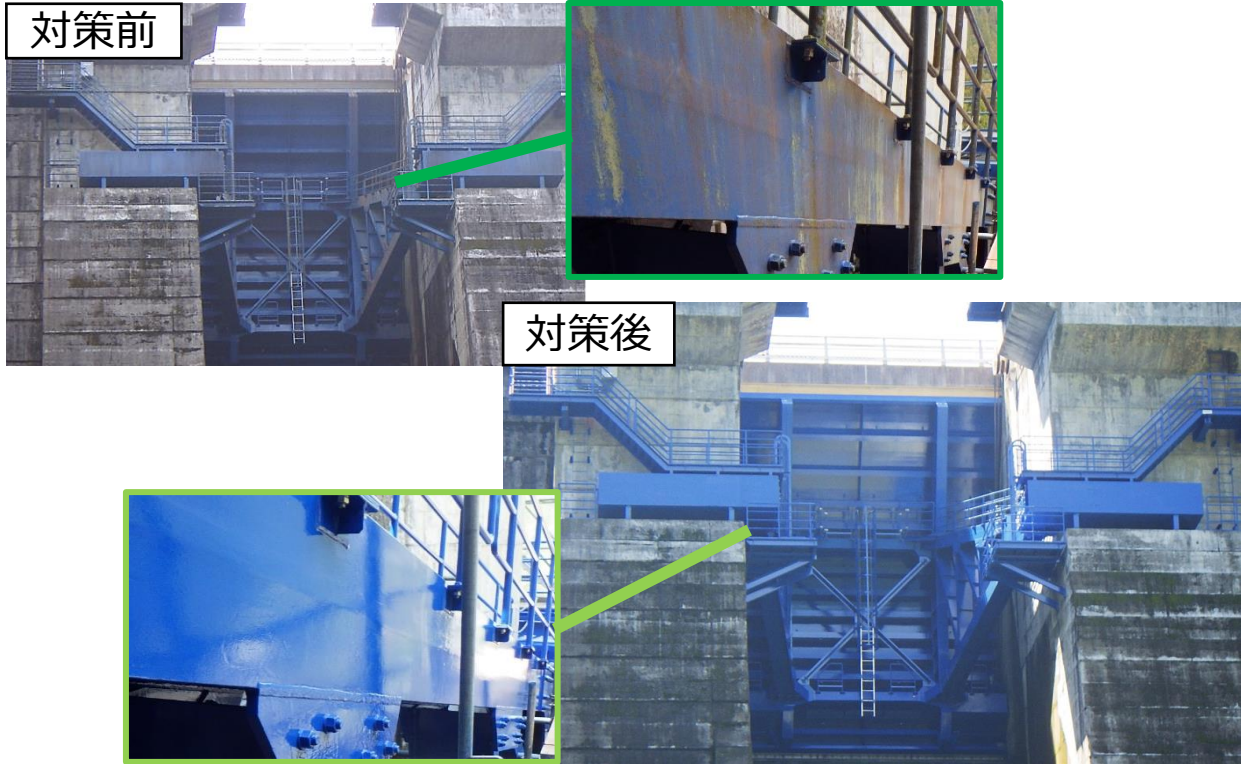


# ダム管理施設の老朽化対策によりダム機能を維持し、生命・財産を守る（熊本県八代市）

事業者：熊本県



## 対策名：80-1 ダム管理施設の老朽化対策

**主たる施策グループ：** 1-4) 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む）



事業名：氷川ダム 防災・安全交付金事業

- ポイント**
- ダム管理施設のゲート改良（塗り替え）を実施し、耐久性を向上
  - 洪水調節機能、流水機能を維持し、大雨時における下流域の生命や財産への甚大な被害を防止

### 地域の概要・課題

氷川ダムは、二級河川氷川に昭和50年3月に建設された多目的ダムであり、平成2年から洪水調節機能の強化と流水の正常な機能の維持を目的に再開発（堤体嵩上げ）に着手し、平成22年3月に工事が完成しました。

多目的ダムには、洪水を貯めて下流の川の水量を減らす洪水調節を行う際に用いるゲートがあります。氷川ダムのゲート部分では塗装の劣化による腐食が発生しており、ゲートの塗装が剥がれた場合、錆びた部分から穴が開き、水漏れが発生する等洪水調節を行う機能に支障をきたします。

### 事業の概要

放流設備の老朽化対策として、進行していた塗装の劣化及び錆の発生部分に対して再塗装を実施することにより長寿命化を図りました。

### 見込まれる効果

放流設備の老朽化対策として、予防保全の管理水準に基づきゲート設備の塗装の塗り直しを実施しました。錆びにくい塗料を用いて塗り直すことにより、ゲートが壊れにくくなるため、ライフサイクルコストが縮減されます。

大雨や台風時に、ダム管理施設が適切に機能し、洪水調節を行うことにより、河川氾濫を防止し、人的被害・物的被害を軽減することが期待されます。



氷川ダム全景

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
 (1) 人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス  
 への転換に向けた老朽化対策

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 伝達の高連情報予測、収集・集積